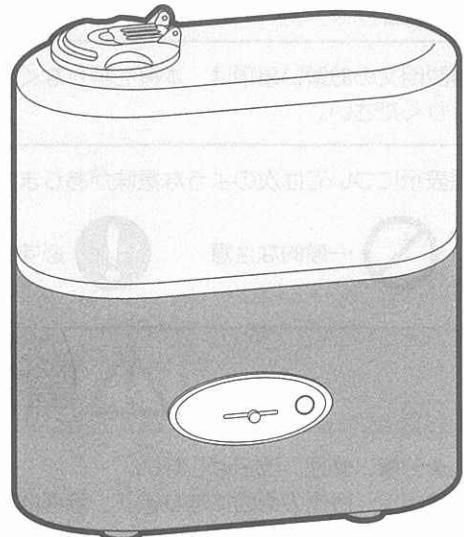
TOYOTOMI

取扱説明書

〈保証書付〉

このたびは、トヨトミ超音波加湿器をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。お読みになった後は、大切に保管していただき、取扱いのわからないときや、不具合が生じたときお役立てください。

トヨトミ超音波加湿器

型式

加湿量コントロール付

TUH-A10

ティー　ユー　エッチ　エー

目次

1．安全上のご注意……………1～3
2．使用する場所……………………3
3．各部の名称とはたらき…………4
4．ご使用方法…………………5～7
アロマポットの使いかた……………7
5．お手入れのしかた………………8
6．おしまいになるときは…………9
7．修理を依頼されるまえに………9
8．仕　様……………………………10
9．保証とアフターサービス………10
保証書…………………………裏表紙

Y07-1

株式会社トヨトミ

4445000701

1 安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した事項は、⚠警告、⚠注意に区分しています。
  いずれも安全に関する重要な内容を記載してありますので、必ず守ってください。

⚠警告（WARNING）	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
⚠注意（CAUTION）	取扱いを誤った場合、使用者が重傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

- 説明文のお願い事項は、本機を誤りなく使用していただくための注意事項が記載されておりますので、必ずお守りください。

絵表示については次のような意味があります。

 一般的な注意　 必ずおこなうこと　 電源プラグを抜く　 分解禁止

⚠警告（WARNING）

★分解、修理、改造はしない。
●火災・感電の原因になります。修理はお買上げの販売店または「トヨトミお客様相談窓口」へご連絡ください。

分解禁止

★吹出口・吸気口やすき間に、異物を入れない。
●感電や異常動作してけがをすることがあります。

禁止

★交流100Ｖのコンセントを単独で使用する。
●交流100Ｖ以外または他の器具と併用すると、火災・感電の原因になります。

禁止

★お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
　また、ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
●感電やけがをすることがあります。

抜く

★本体ごと水の中につけたり、本体を水洗いしたり、スイッチ部に水をかけたりしない。
●ショート・感電のおそれがあります。

禁止

★幼児の手の届く所で使わない。
●感電・部品を誤飲する原因になります。

禁止

⚠注意(CAUTION)

★電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
●電源コードや電源プラグが異常に発熱し溶けたり変形して感電・ショート・発火の原因になります。

★電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしない。
●電源コードが破損する原因になります。傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。

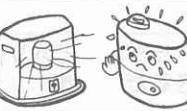
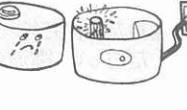
★電源プラグは、ほこりや汚れが付着していないか確認し、根元まで確実に差し込む。
●ほこりや汚れが付着したり、ガタつきで接続が不完全な場合は異常に発熱し電源プラグが溶けたり変形して感電や火災の原因になります。

★電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。
●電源コードを引っ張って抜くと、感電やショートして発火することがあります。

禁止

★この加湿器は、一般家庭用の室内加湿器です。それ以外の用途には使用しない。
●特に温室など高湿度で連続使用すると、器具の寿命が短くなったり、感電のおそれがあります。
また、食品・動植物・楽器・美術品等の保存などの特殊用途に使用しますと、加湿器自体ならびにこれらの品物の品質低下の原因になります。

★水は必ず水道水を使用し、汚れた水やお湯、洗剤などは入れない。
水に薬品・香料・精油などを入れないでください。
●健康を害することや、器具の故障や変形の原因になります。

★タンク内にアロマオイルを入れない。
●タンクが変形、破損して水漏れしたり、器具の故障の原因になります。

★タンクの水は毎日新しい水道水と入れ替え、本体の水そう部は、常に清潔にして使う。
●お手入れせずに使用を続けますと、汚れや水あかで加湿量が低下したり、カビや雑菌が繁殖し悪臭がすることがあります。
また、まれに体質により過敏に反応し、健康に良くないことがあります。
この場合は、ご使用のつど(毎日)お手入れをおこなってください。

★熱源(暖房器具など)の近くや、上にのせて使用しない。
●火災・故障の原因になります。

★窓際など直射日光のあたる場所では使用しない。
●タンクや本体が長時間直射日光にあたると変色することがあります。

★タンクをはずしたまま、電源を入れない。
●水が飛び散ったり、水柱に手を触れると痛みを感じたりして危険です。
★水がないままや、横転、逆さにしたままで電源を入れない。また、電源を入れたまま横転や水を捨てない。
●振動子がこわれ、故障の原因になります。

★給水は、必ずタンクに給水する。水そう部に直接給水しない。
●送風口に水滴が入ったりして、漏電・感電のおそれがあります。

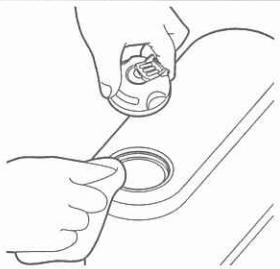
⚠注意(CAUTION)

★外出するとき、使用しないとき、保管するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
●けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

抜く

★水を補給するためにタンクをはずすときは、必ず「電源スイッチ」を「OFF」にする。
●送風口に水滴が入ったりして、故障の原因になります。

指示

アロマオイルについて

アロマポット・アロマキャップ・スポンジ以外(吹出口をはめ込む本体側を含む)にアロマオイルが付着した時は、きれいに拭き取ってください。変色・変形・固着の原因になることがあります。(アロマポットにまだアロマオイルが入っている時は吹出口をタンクから取りはずしてから給水などの作業をしてください。)
本体内部までアロマオイルが入ったおそれがある時は、本体内部の水道水を捨てて、タンクキャップや本体内部の振動子と水そう部を洗浄してください。
(P8 **5. お手入れのしかた** 参照)
また、タンク内には絶対にアロマオイルを入れないでください。
タンクの変形や破損して水漏れしたり、器具の故障の原因になります。

2 使用する場所

●不安定な場所に置かない

禁止

水位が変わり、霧の出る量が少なくなったり、出なくなることがあります。水平に置いて使用してください。

●落下物の心配がある場所、凹凸のある場所では使用しない

禁止

不安定な物をのせた棚などの下、凹凸がある不安定な場所では使用しないでください。思わぬ事故や誤作動の原因となります。

●壁、家具や電気製品などに霧がかからぬようにする

指示

壁、家具や電気製品などに霧がかからぬよう、場所や吹出口の方向に注意してください。故障したり、家具や壁が変形したり、シミ(カビ)などが発生することがあります。

●テレビ・ラジオなどAV機器から、できるだけ離す

指示

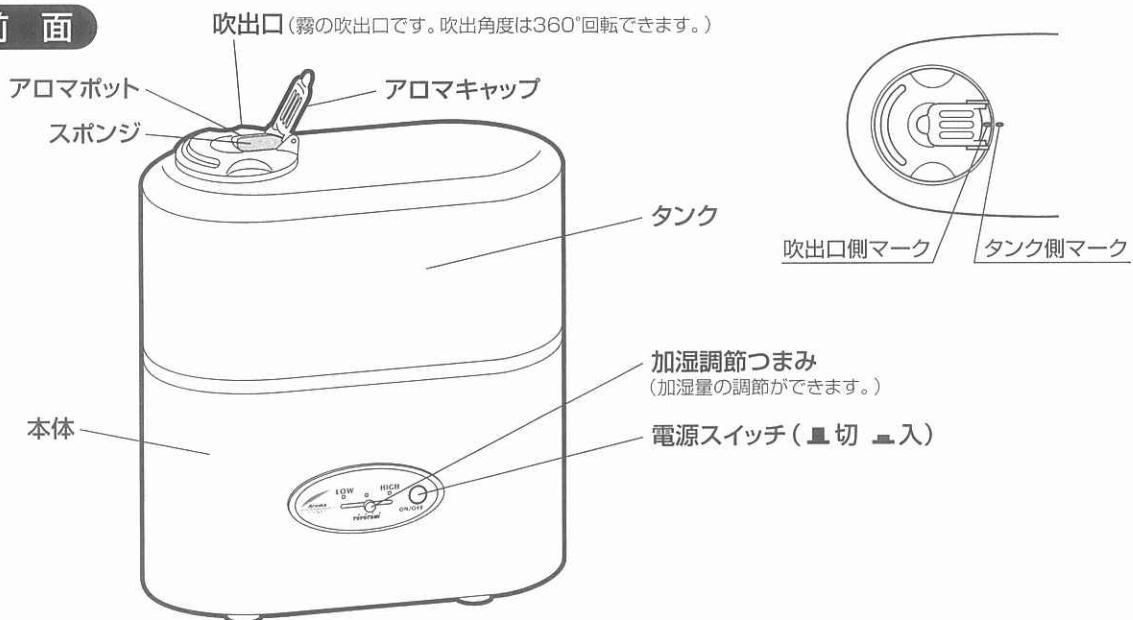
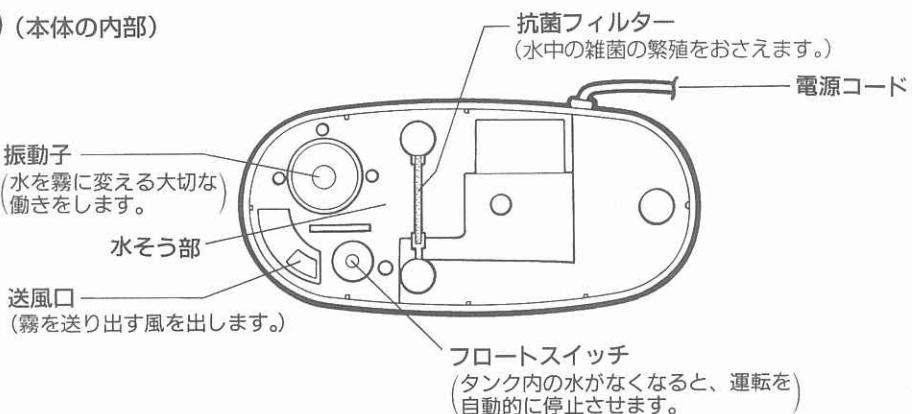
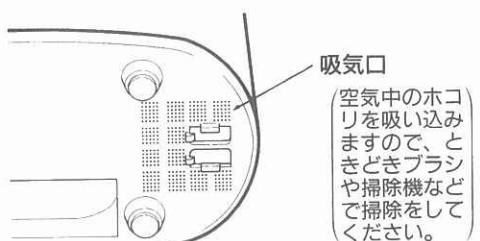
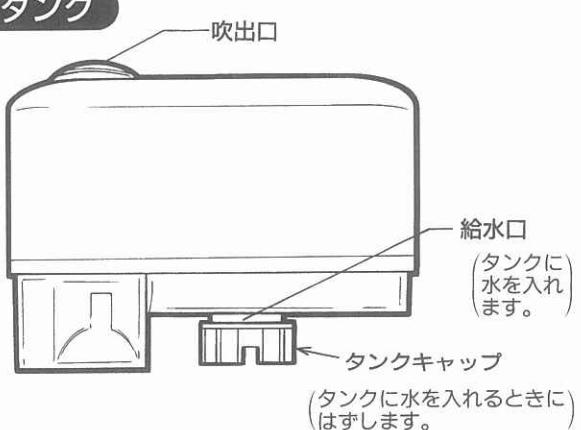
約3m以上離れた別のコンセントで使用してください。電波の弱い地域では、映像の乱れや雑音の入ることがあります。

●じゅうたん・カーペットなどの上に直接置いて使用しない

禁止

毛足が長いじゅうたんの上や、ふとんの上などに置くと、吸気口がふさがれて霧の出かたが悪くなります。

●窓や冷たい壁からは、できるだけ離して風通しの良い場所で使用する

指示

窓や冷たい壁に霧がかかりますと、水滴となって窓や壁、床につくことがあり、カビなどが発生することがあります。風通しの良い場所で使用してください。

●窓際など直射日光のあたる場所では使用しない。

タンクや本体が長時間直射日光にあたると変色することがあります。

禁止

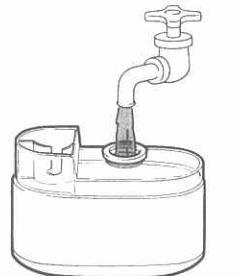
3 各部の名称とはたらき

4 ご使用方法

1. タンクを洗います。

⚠注意	給水は、必ずタンクに給水する。水そう部に直接給水しない。 送風口に水滴が入ったりして、漏電・感電のおそれがあります。	 禁止

①吹出口を回して吹出口のマークをタンクのマークと合わせ、吹出口をタンクからはずしてください。

お願い

アロマキャップを閉めて吹出口をはずしてからタンクを移動してください。
開けたまま移動すると、オイルがこぼれ、変色・変形する原因になることがあります。

②タンクを本体からはずし、タンクキャップを上にして、左「↺」に回して取りはずしてください。

③給水のつど、タンク内を次の順序で洗ってください。

⑴タンクに水道水を1～2Ｌ(タンクの約1／2程度)入れてください。

⑵タンクキャップを右「↻」へ回して、しっかり締め、ふり洗いしてタンク内の汚れを取り除き、水を捨ててください。

お願い

洗剤は使用しないでください。霧の量が少なくなります。

2. タンクに水道水を入れてください。

⚠注意	水は必ず水道水を使用し、汚れた水やお湯、洗剤などは入れない。 水に薬品・香料・精油などを入れない。 健康を害することや、器具の故障や変形の原因になります。	
	タンク内にアロマオイルを入れない。 タンクが変形、破損して水漏れしたり、器具の故障の原因になります。	 禁止
	水を補充するときなどにタンクをはずすときは、必ず「電源スイッチ」を「OFF」にする。 送風口に水滴が入ったりして故障の原因になります。	 指示

お願い

- タンクに水を入れるとき、持ち運ぶときなどに、誤ってタンクを落としたりすると破損します。充分に注意してお取り扱いください。
- 給水のとき、タンクの給水口に水道の蛇口を直接差し込んで給水することはおやめください。タンクが破損することがあります。

①タンクキャップを右「↻」に回して、しっかり締め、タンクを本体にセットしてください。

お願い

タンクを本体からはずしたまま、放置しないでください。暖房器具の熱や直射日光で温度が上がると、タンク内の空気がふくらみ、タンクが変形することがあります。

②吹出口のマークをタンクのマークと合わせ、吹出口をタンクにセットしてください。

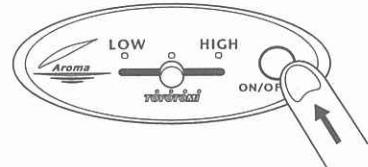
3. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

●電源プラグを交流100Ｖ以上の専用コンセントに差し込んでください。

電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように刃の根元まで確実に差し込む。
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、異常に発熱し電源プラグが溶けたり変形して感電や火災の原因になります。

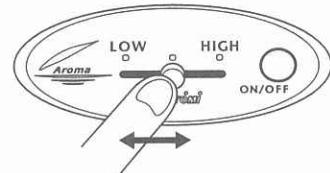
禁止

4. 吹出口をお望みの方向に向けます。

●吹出口を霧を出すお望みの方向に向けてください。

お願い

テレビや家具、カーテンなどに霧が直接かからないよう、吹出口の方向に注意してください。

5. 電源スイッチを「ＯＮ」にします。

●電源スイッチを押して「▂ＯＮ」にしてください。

6. 加湿量を調節します。

●加湿調節つまみを「ＬＯＷ」↔「ＨＩＧＨ」の間で移動させ、お好みの加湿量に調節してください。

お願い

加湿調節つまみ位置が同じでも霧の量は一定ではありません。水温や室温が低いと霧の量が少なくなり、20～30分運転すると徐々に多くなります。また、その日の室温や天候でも変化します。長時間連続加湿される場合は注意が必要です。

7. 水がなくなったら、タンクに水を補給します。

お願い

水を補給するためにタンクをはずすときは、必ず「電源スイッチ」を「ＯＦＦ」にしてください。

●水がなくなってきますと、フロートスイッチが働いて、吹出口から霧が出なくなります。
送風を止め（電源スイッチを「ＯＦＦ」に）、タンクに水を補給してください。
（前項1、2の手順を参照してください。）

8. 霧が多いときは、加湿調節つまみで調節します。

●その時の温度や湿度によって霧で床をぬらすことがあります。
こまめに加湿調節つまみで霧の量を調節してください。

9. アロマポットの使いかた(アロマ運転)

①アロマキャップを開けます。

芳香用のスポンジをアロマポット内へ入れます。(お買い上げ時はスポンジはアロマポット内に入っています。)

②アロマオイルを付属のスポイトで吸い上げ、アロマポット内のスポンジに染込ませます。

アロマキャップ
スポンジ
アロマポット

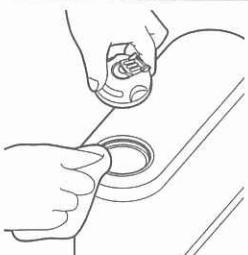
ご注意

●アロマオイルは、スポイトで3〜5滴を目安にフェルトに染み込ませてください。
それ以上入れたり、スポンジを取りはずした状態でアロマオイルを滴下すると、こぼれたり、変色・変形・固着の原因になることがあります。

●アロマポット・アロマキャップ・スポンジ以外にアロマオイルが付着した時は、きれいにふきとってください。
変形・変色・固着のおそれがあります。

③アロマキャップを閉めて加湿器を運転します。

●移動するときは…
アロマキャップを閉めてから移動させてください。
開けたまま移動すると、アロマオイルがこぼれ、変色、変形、固着する原因になることがあります。

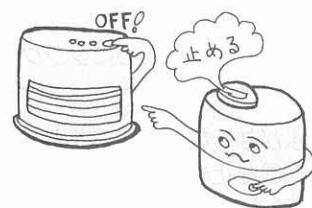
●アロマオイルについて…
付属のアロマオイルがなくなりましたら、市販されているアロマオイルをお使いください。

●アロマオイルの香りをかえるときは…
吹出口のマークとタンクのマークを合わせ吹出口を取りはずし、アロマポット内のスポンジを取り除き、食器用中性洗剤で洗ってください。そのあと洗剤が残らないように水でよくすすいでください。
新しいスポンジを使ってください。

使用上のご注意とお願い

アロマオイルについて…

アロマポット・アロマキャップ・スポンジ以外(吹出口をはめ込む本体側を含む)にアロマオイルが付着した時は、きれいに拭き取ってください。変色・変形・固着の原因になることがあります。(アロマポットにまだアロマオイルが入っている時は吹出口をタンクから取りはずしてから給水などの作業をしてください。)
本体内部までアロマオイルが入ったおそれがある時は、本体内部の水道水を捨てて、タンクキャップや本体内部の振動子と水そう部を洗浄してください。
(P8 5. お手入れのしかた 参照)
また、タンク内には絶対にアロマオイルを入れないでください。
タンクの変形や破損して水漏れしたり、器具の故障の原因になります。

白い粉について…

お使いになる水によっては、水中に溶解しているカルシウムなどが白い粉となって、テレビや家具などに付着することがあります。付着したときは、やわらかい布などで早めにふきとってください。

炎色反応について…

ガス器具の近くでご使用になりますと、ガスの炎(通常は青色)がだいだい色になることがあります。これは水中に溶けているカルシウムなどが加熱されるときに特有の光を発する現象なので心配ありません。

暖房を止めたら、加湿器も止めましょう。

暖房をしていない部屋で使用すると室温が下がりますので、おやすみのときなどは特にご注意ください。

お休みの際には…

本製品には自動加湿調節機能が備わっておりません。
夜間は室温が下がり結露しやすくなりますので、お休みの際には運転を停止させるか、ひかえめな設定にしてください。

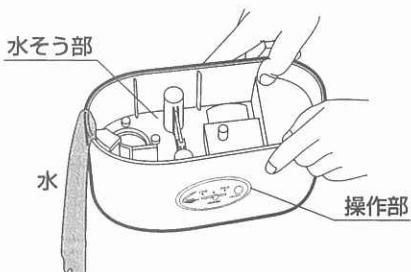
凍結させないで…

室温が0℃以下になる場合は、水を捨ててください。
凍結するとタンクや本体が破損します。

5 お手入れのしかた

⚠警告	
	修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造はしない。 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。 分解禁止
	●お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 ●本体ごと水の中につけたり、本体を水洗いしたり、スイッチ部に水をかけたりしないでください。 ショート・感電のおそれがあります。 抜く

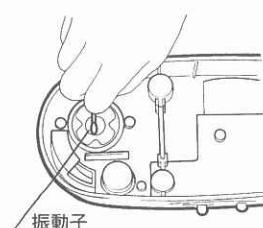
■タンクの掃除（給水のつど、おこなってください。）

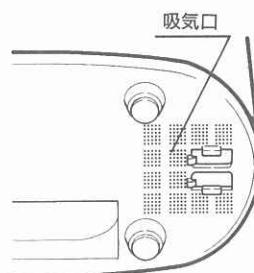
●タンクに給水するつど、タンクに1／2程度の水を入れ、ふり洗いして、タンク内の汚れを取り除いてください。（5ページ ご使用方法 1項を参照してください。）

■本体の掃除（1週間に1回以上）

お願い

ベンジン、シンナー、洗剤、薬品類、みがき粉、化学雑巾などは使用しないでください。
また、熱湯(40℃以上)で洗わないでください。変形、変色、変質の原因になります。

1. タンクをはずし、水そう部の水を捨てます。

絶対に操作部側に排水しないでください。電気部品が水濡れして危険です。

2. 水そう部の中の振動子の表面を手入れします。

柔らかい布でふいてください。特に振動子の表面を傷つけると故障の原因となりますので、金属性のブラシなどでこすらないでください。水そう部の内部のよごれが気になるときは、綿棒やスポンジなど柔らかいものを用いて洗ってください。

お願い

洗剤で洗うと霧の出かたが少なくなりますのでおやめください。

3. 吸気口の掃除をします。

本体底の吸気口に付着したほこりを1箇月に2回以上掃除機などで取り除いてください。

4. 本体の汚れを取ります。

柔らかい布でふいてください。落ちにくい汚れは、中性洗剤溶液に浸した布を固くしぼってふき取り、そのあと洗剤が残らないように水ぶきしてください。

5. アロマポットの掃除

吹出口のマークとタンクのマークを合わせ、吹出口を取りはずし、食器用洗剤で洗ってください。そのあと洗剤が残らないように水でよくすすいでください。

■電源プラグ・コンセント（1箇月に1回以上）

●電源プラグ、コンセントにほこりや汚れがたまると、火災の原因となります。1箇月に1～2回、電源プラグをコンセントから抜いて、付着したほこりや汚れを取り除いてください。

6 おしまいになるときは

①8ページの お手入れのしかた を参照して掃除をしてください。水そう部に水が残ったまま放置しますと、水あかが固着し、次に使用するとき霧が出なくなったり、掃除しても水あかがとれなくなることがあります。

②タンク、水そう部についた水を完全にふき取り、日陰で充分に乾燥させてください。

③もとの包装箱に入れるか、ポリ袋をかぶせて湿気の少ないところに保管してください。

7 修理を依頼されるまえに（次の点検をしてください。）

症　状	点検するところ	直しかた
風も霧も出ない。	電源プラグが、コンセントにしっかり差し込まれていますか。	電源プラグを、確実にコンセントに差し込んでください。
	電源スイッチが「▬ON」になっていますか。	電源スイッチを「▬ON」にしてください。
風は出ているが霧が出ない。	給水タンクに水が入っていますか。	水を補給してください。
	フロートに水あかや鉄片が付着していませんか。	フロートを掃除してください。
	振動子の表面に水あかや堆積物がたまっていませんか。	振動子を掃除してください。
	振動子の寿命。	振動子を交換してください。（販売店に依頼してください。）
霧の出かたが少ない。	水温や室温が低くありませんか。	給水温度、室温が低いときは、20～30分運転するとやがて多くなります。
	加湿調節つまみが「ＬＯＷ」になっていませんか。	加湿調節つまみを「ＨＩＧＨ」の方にしてください。
	水が水そう内にたくさん入っていませんか。	コンセントから電源プラグを抜き、いったん水そう部の水を捨ててから、給水タンクをセットし直してください。
	油や洗剤や薬品などが水に混入していませんか。	給水タンクと水そう部の水を捨て、すすいだ後、乾いた布で水滴をよくふき取ってから、セットし直してください。

8 仕様

項目		仕様
型式の名称		TUH−A10
種類		超音波式
使用水		水道水
製品能力電気特性	加湿能力	0.35L/hまで無段階調節
	連続加湿時間	約8.5時間(最大加湿時)
	適用床面積のめやす	6〜10畳
	タンク容量	3L
	電源ヒューズ	125V 1A
	電源	単相100V 50/60Hz
	定格消費電力	43/41W
	電源コード	約2m
付属品		アロマオイル・スポイト
外形寸法		幅260×奥行120×高さ300㎜
質量		2.5㎏(水を除く)

9 保証とアフターサービス

●**この製品には保証書がついています。**(裏表紙についています。)
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、所定事項の記入および記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

●**保証期間はお買上げの日から1年間です。**
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

●**保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。**
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により修理いたします。費用など詳しいことはお買上げの販売店にご相談ください。
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

●**加湿器の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6年です。**
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

使用中に異常が生じたときは、直ちに電源プラグを抜き、お買上げの販売店に修理を依頼してください。アフターサービスをお申しつけいただくときは、右のことをお知らせください。

型　式…TUH−A10
故障状態…できるだけ詳しく
ご氏名・ご住所・お電話番号

●アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合、お買上げの販売店または別紙の **お客様相談窓口一覧** までご相談ください。

●ご贈答、ご移転により、お買上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、販売店または別紙の **お客様相談窓口一覧** までご相談ください。

トヨトミ超音波加湿器保証書

型式		TUH－A10	
※ 保証期間		お買上げ日より１年間	お買上げ日　　年　　月　　日
※ お客様	ご住所 ご芳名	〒　　TEL	
※ 販売店	住所 氏名	〒　　TEL　　印 またはサイン	

（※印欄に記入がない、あるいは購入・支払いを証明するものがない場合は無効となりますから必ずご確認ください。）

本保証書は、本書記載の内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。

株式会社トヨトミ

〒467-0855 名古屋市瑞穂区桃園町5番17号 TEL052-822-1144

無料修理規定

1. お買上げ日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意に従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、当社が無料修理いたします。
2. 無料修理をお受けになる場合は、本書あるいは購入日・支払いを証明するものをご提示のうえ、お買上げの販売店または当社にご依頼ください。
3. ご転居・ご贈答品等で、本書に記入してあるお買上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、当社へお問い合わせください。
4. 保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。
   - イ．使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
   - ロ．お買上げ後の落下・転倒・衝撃・輸送等による故障及び損傷。
   - ハ．火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害や異常電圧などによる故障及び損傷。
   - ニ．居室用加湿以外（例えば、温室や業務用の使用、車両・船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
   - ホ．本書の提示がない場合。
   - ヘ．本書にお買上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き替えられた場合。通信販売等で購入され、それを証明する商品の送り状・支払明細書の提示がない場合。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

- この保証書は、本書に明示した期間、条件の下において無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等について、ご不明な場合は、お買上げの販売店又は当社にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理等について、詳しくは「保証とアフターサービス」の項をご覧ください。

修理メモ	
年月日	
修理内容	
担当者	

お客様相談窓口

株式会社トヨトミ

本　社　名古屋市瑞穂区桃園町５番１７号
〒467-0855　TEL〈052〉822-1144
FAX〈052〉822-2742

※別紙の［お客様相談窓口一覧］を参照してください。